

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● 令和7年度通常総会・記念講演を開催しました

6月4日(水)、会員企業・団体から計94名が出席し、岐阜グランドホテルにて岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム令和7年度通常総会・記念講演を開催しました。

冒頭、涌井理事長から、「当コンソーシアムは昨年9月に設立10周年を迎えた。当初、会員数は79機関であったが、皆様方の熱いご活動によって、昨年度までに115機関となった。そして、4つの委員会における活動では、着実に成果を上げている。委員長に対し、改めて心より感謝申し上げる。これまで、地域経済の活性化など社会的課題を産業革命以来、工学的、化学的手法によって解決し、文明を築いてきた。しかし、それが地球環境にマイナスの影響を与えることとなり、プラネタリーバウンダリーという言葉が一般化するように、地球環境が一定の閾値を超えると元に戻らないというような状況に迫っている。閾値を超えれば、後世に自然の恵みを引き継ぐことができなくなってしまう。これまで、工学や化学に頼ってきた人間社会を見直し、人間が地球上の生物種であることを認識し、他の生物種との共生を如何に考えるかが非常に重要である。ネイチャーポジティブ、自然から反転した発想で、地球環境の将来を考えていくべきである。」とあいさつをいただきました。

通常総会では、令和6年度の事業実績・収支決算、令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)の4つの議案について全て原案通り承認されました。

承認された事業計画に沿って、共同研究活動や交流活動などを展開してまいりますので、会員の皆様の積極的な参加をお願いします。

総会に続き、公益財団法人 日本自然保護協会 理事長 つちやとしゆき 土屋俊幸氏から「ネイチャーポジティブの現状と森林・林業・木材産業の役割」と題して講演いただきました。

講演では、ネイチャーポジティブに関する世界・日本の動向、林野庁における最近の施策の位置づけや「NbS」とは何かについての解説があり、森林におけるネイチャーポジティブの取り組みの紹介がありました。まとめでは、基本的にネイチャーポジティブの考え方(思



涌井理事長によるあいさつ



総会の様子



土屋俊幸氏による記念講演

想)は、SDGs、NbS、TNFDなどと同様であり、森林分野では、森林認証の考え方で極めて近く、持続的な森林経営の考え方にも近いと言われました。

また、会場では各委員会における活動報告パネルの展示ほか、四足歩行ロボットの実演や大型運搬ドローンの展示、紹介などを行いました。



株式会社 ROBOZ による四足歩行ロボットの実演



株式会社ジオクリエイツによる内装木質化 VR 体験の実演



株式会社マゼックスによる大型運搬ドローンの展示



生分解性ツリーシェルターの展示
左：バイオ・ツリーシェルター（住友林業株式会社）
右：ARBO TRADE（ドイツ企業）



委員会活動にて、未利用樹種を活用し製作した椅子
左：イタヤカエデ、右：ヤマザクラ



各委員会の活動紹介パネル

コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）

〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529

E-Mail: gifu.shinrin.conso@forest.ac.jp